



No.1 Noodle Restaurant Company

証券コード:9900

うどん

りん

第46期 上半期報告書 | 2015年4月1日~2015年9月30日



● 株主の皆様へ



平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第46期上半期のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

我が国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策による下支え効果もあり、企業業績や雇用環境等は改善傾向となり、緩やかな回復基調が続いております。一方で物価上昇に伴う実質賃金の低下等の影響もあり、本格的な個人消費の回復には至っておりません。加えて、採用難による人件費増加等、外食産業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況となっております。このような環境ではありましたが、皆様のご支援のおかげで、当社グループは計画を上回る成果を挙げる事が出来ました。

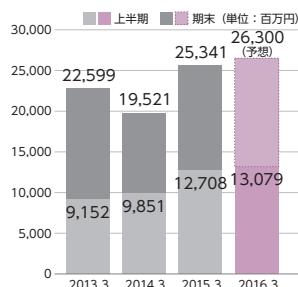
また、本年開催された「イタリア ミラノ国際博覧会」に日本フードサービス協会のコンソーシアムメンバーとして日本館レストラン運営に携わり、看板メニューの「そば」「天ぷら」「なごやめし」を海外に発信することができました。詳細につきましては、本誌に記載しておりますので、ご高覧戴ければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 鎌田 敏行

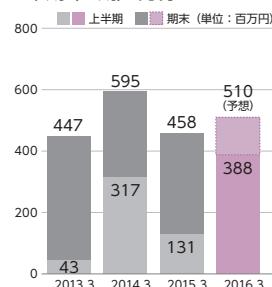
● 連結売上高



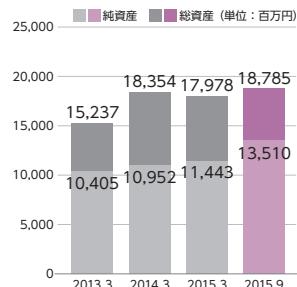
● 連結経常利益



● 親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益



● 連結純資産・連結総資産



# ミラノから日本の食文化である蕎麦を世界に発信！

## ■上半期の業績と取り組み

### Q. 業績の概要からお聞かせください。

鎌田 平成28年3月期第2四半期連結業績は、売上高13,079百万円、営業利益595百万円、経常利益624百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は388百万円と、計画値（売上高12,500百万円、営業利益370百万円、経常利益390百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益230百万円）を収益面で大幅に上回ることができました。

これは、ミラノ万博出店による宣伝効果、効率経営推進を目的とした国内事業会社の再編、更には後方部門の集約を進めた結果でもありますが、新規出店を下期に移行した影響もあり、加えて、今後の経済情勢や市場環境が不透明であることから通期の利益予想は微増と致しております。

また、株価に就きましては、本年8月に18年振りとなる1,400円をつけており、企業業績に合わせて順調に回復しつつあります。店舗では店長を中心に考案した個店メニューが支持され、お客様からは「おいしかったよ」「また来るよ」「ありがとう」のお言葉を頂戴することが多くなり、これも業績の改善に繋がったものと考えております。



### Q. 手延べうどん「味の民芸」業態の業績はどのようになっていますか？

鎌田 当社グループの好業績には、味の民芸の復活が大きく寄与しております。グループ入りした昨年度から黒字転換しておりますが、今年度は改革2年目となり、経営改善が更に進みました。具体的には、グループの食材・メニューを活用した和食御膳商品の拡充、覆面調査を基にした接客サービスの向上、和食麵処サガミと味の民芸の人事交流による意識改革等、グループシナジーを発揮した施策を推進致しました。このような取り組みの結果、売上が19ヶ月連続で前年を上回る等、多くのお客様から支持を受けることができました。



### ■経営の改善・改革

**Q. “No.1 Noodle Restaurant Company”を指す「中期経営計画」が2年目に入りました。これまでの成果と今後の課題にはどのようなものがありますか。**

**鎌田** 本年度4月に(株)サガミマスターズを新たに設立し、これで国内の営業会社は4社となりました。これはグループとしての効率化や生産性の向上を目的としております。具体的には(株)サガミチェーンは大型業態「サガミ」、味の民芸フードサービス(株)は中型業態「味の民芸」「あいそ家」、(株)ディー・ディー・エーはFCを含む郊外型の小型業態、そして新設した(株)サガミマスターズはFCを含む都心型の小型業態に特化しております。立地や業態規模の違いにより、お客様が店舗に求めるサービス、値段、雰囲気、滞在時間等は異なります。今回のグループ

再編により、各営業会社では、自社の環境を考慮して、お客様起点で具体的な戦略・戦術をスピーディーに実行に移すことが可能となりました。この結果、顧客満足度の向上、売上・利益の増加に繋がっており、最終的には中期経営計画が達成できるものと考えております。

### ■海外成長戦略

**Q. ASEANとミラノへの出店についてお聞かせください。**

**鎌田** 海外出店は、本年5月ジャカルタ郊外にインドネシア2号店となる「SAGAMI イオンモールBSD CITY店」を出店いたしました。また、タイ王国バンコクでは、年内に3号店を出店する計画で、来年はベトナム共和国で2店舗同時に開店するべく準備を進めております。

一方、欧州では5月1日から10月31日まで開催されたイタリア ミラノ国際博覧会で日本館のフードコートに出店いたしました。これは万博の長い歴史の中で「食」がテーマとなる初めてのもので、“No.1 Noodle Restaurant Company”を標榜する当社といたしましては、“Noodle”の中にパスタも含まれることから何としても出店したいと考え、取り組んだものです。昨年、ブラジル リオデジャネイロの「日本おもてなしパビリオン」で唯一の外食企業として蕎麦を世界のVIPにご提供するなどの準備をした甲斐もあって、ミラノ万博日本館の中でも大盛況を続け、テレビや

新聞で何度も取り上げて戴くことができました。サガミチェーン・味の民芸、そして社員・パートさんからなる精鋭部隊が実力を遺憾なく発揮し、小さな店舗にも拘わらず売上はサガミグループ全体の中で6ヶ月間を通して1位を続けてくれました。

北イタリアにはピツォッケリという蕎麦粉を使った麺の郷土料理があるとは言え、現地の方に天ぷら蕎麦、天ざるが人気となったことには大いに勇気づけられました。また、この間開催された、姉妹都市10周年を記念するトリノでの「名古屋デー」や、万博会場での「あいち・なごやウィーク」できしめん、手羽先、天むすをご提供してご好評を博したことから、欧州での将来の出店に向けて市場調査に着手いたしました。

## ■企業価値向上

**Q. 日本企業にもコーポレートガバナンス（企業統治）に向けた意識の向上が求められています。サガミチェーングループの取り組みはいかがですか。**

鎌田 当社グループでは、以前よりコーポレートガバナンスについてその重要性を深く認識すると共に透明性の確保に努めております。本年の株主総会において、新たに社長経験者（元株式会社ロフト代表取締役社長、現株式会社サッポロドラッグストアー社外取締役）である遠藤良治氏に社外取締役、弁護士の神谷俊一氏に社外監査役に就任して戴くことで、役員総数11名の内社外役員は5名（社外取締役

2名、社外監査役3名）の体制となりました。これにより一層経営の透明度が高くなったと考えております。また、3年間のテスト期間を経て本年度から本格的に執行役員制度を導入しており、執行役員は毎週開催される経営会議に取締役、監査役と共に出席し、議論に参画いたしております。

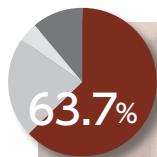
## ■株主の皆様へ

**Q. 当期末の業績が楽しみです。あらためて経営トップとしての決意をお聞かせください。**

鎌田 ここ数年、当社は安定的に利益を計上できる体質となりましたが、売上高営業・経常利益率が3%弱であり、これをもっと向上させたいと考えております。今年度上期は、「味の民芸」の売上一番店が「サガミ」の売上一番店を月間で2度抜くなど、味の民芸の復調が顕著です。お客様から「ありがとう」のお言葉を一つでも多く頂戴できるよう努力を重ねると共にコスト削減にも取り組み、グループを更に筋肉質にしていまいります。そして、国内では主に首都圏と中部圏、海外では特にASEANへの出店に注力いたします。

海外も含めたサガミグループ従業員一同、「No.1 Noodle Restaurant Company」のグループビジョンを共有し、常に危機感を持ちながら鋭意努力してまいりますので、株主の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 部門別外食事業の状況

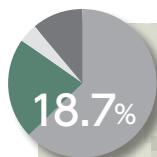
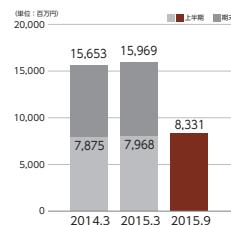


### 和食麺類部門

8,331 百万円

和食麺類部門では、当社主力業態である和食処「サガミ」において、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を1回、「料理フェア」を4回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県・滋賀県で「こだわりテレビCM」を3回放映いたしました。これにより既存店売上高は前年同一期間に対して4.8%増となりました。なお、当上半期末での店舗数は128店舗となりました。

#### ■対象店舗

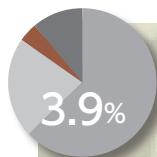
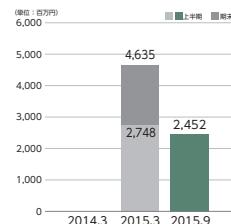


### 味の民芸部門

2,452 百万円

味の民芸部門では、手延べうどん「味の民芸」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を6回実施したほか、「スピードくじ企画」を6回実施いたしました。なお、当上半期末での店舗数はFC店舗を含み56店舗となりました。

#### ■対象店舗

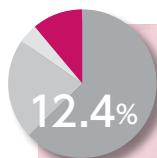
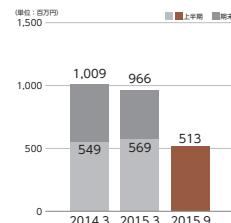


### だんごん庵部門

513 百万円

だんごん庵部門では、セルフサービス方式の「だんごん庵」において、「だんごん祭」を1回実施したほか、「料理フェア」を4回実施いたしました。なお、当上半期末での店舗数はFC店舗を含み39店舗となりました。

#### ■対象店舗

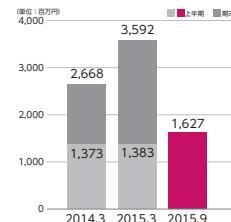


### その他の部門

1,627 百万円

その他の部門では、国業食堂「あいそ家」において「お客様大感謝祭」を1回実施したほか、「料理フェア」を3回実施いたしました。また、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「割引券配布企画」を4回実施いたしました。店舗関係では「盛賀美 青山店」を「さがみ 青山店」(4月)に業態変更し、インドネシアジャカルタのイオンモール BSD CITYに「SAGAMI イオンモール BSD CITY店」(5月)を出店いたしました。なお、当上半期末での店舗数はFC店舗を含み46店舗となりました。

#### ■対象店舗



## 連結財務諸表 (要約)

### ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当上半期末 2015年9月30日現在	前期末 2015年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>1</b> 流動資産	5,043	4,343
固定資産	13,741	13,635
有形固定資産	9,145	9,069
無形固定資産	1,003	1,055
投資その他の資産	3,592	3,511
資産合計	18,785	17,978
<b>負債の部</b>		
<b>2</b> 流動負債	3,075	3,988
固定負債	2,199	2,546
負債合計	5,274	6,535
<b>純資産の部</b>		
株主資本	13,166	11,155
資本金	7,178	6,303
資本剰余金	4,280	3,405
利益剰余金	1,721	1,458
自己株式	△13	△11
その他の包括利益累計額	344	287
非支配株主持分	—	0
<b>3</b> 純資産合計	13,510	11,443
負債・純資産合計	18,785	17,978

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当上半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前上半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	13,079	12,708
売上原価	4,029	3,876
売上総利益	9,050	8,832
販売費及び一般管理費	8,455	8,592
<b>4</b> 営業利益	595	239
営業外収益	43	52
営業外費用	14	17
経常利益	624	275
特別利益	0	0
特別損失	135	74
税金等調整前四半期純利益	489	200
法人税、住民税及び事業税	115	61
法人税等調整額	△14	9
四半期純利益	387	128
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	388	131

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当上半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前上半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	307	234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△469	△271
財務活動によるキャッシュ・フロー	679	△242
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	523	△290
現金及び現金同等物の期首残高	3,298	3,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,821	3,122

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ① 財務のポイント

- 1 流動資産**：流動資産は5,043百万円となり、前期末に比べ700百万円増加しました。これは主に現預金の523百万円の増加によるものです。
- 2 流動負債**：流動負債は3,075百万円となり、前期末に比べ913百万円減少しました。これは主に短期借入金538百万円および未払金414百万円の減少によるものです。

- 3 純資産**：純資産は13,510百万円となり、前期末に比べ2,067百万円増加しました。これは主に新株発行による資本金等の増加によるものです。
- 4 営業利益**：営業利益は595百万円となり、前上半期に比べ355百万円増加しました。これは既存店売上高の増加及びグループ経営による経費の削減効果が主な要因であります。

## ミラノ国際博覧会 日本館に出店

当社では、期間限定ではありましたがイタリア ミラノ国際博覧会において、日本館フードコートに出店いたしました。このミラノ万博は、初めて「食」をテーマにした万博であることから、当社では世界に「和食」「蕎麦」そして「サガミ」の名前を広める絶好の機会と考えて、北海道産蕎麦粉を使用した「特製平打ち麺」を提供いたしました。また、蕎麦以外にも現地の新鮮な野菜



を利用した「天ぶら」や名古屋めしである「天むす」などの販売も行い、その結果、イタリアを始め様々な国の方々が来店され、日本館フードコートでNO.1の売上になりました。この期間中には、安倍総理夫人、大村愛知県知事、河村名古屋市長など、多くの著名な方々もご来店いただき、当社の自慢の蕎麦をお召し上がりいただきました。

当社グループでは、グループビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」のもと、「蕎麦」を世界に広めるべく、積極的に取り組んでまいります。



## うどん天下一決定戦 2015 「味の民芸」が第3位に入賞!



東京の代々木公園にて8月28日（金）から8月30日（日）までの3日間開催された「うどん天下一決定戦 2015」にサガミグループを代表して、備中手延べうどん「味の民芸」が出場いたしました。全国から15店舗のうどんの名店が参加する中で、店舗でお客様から絶大な支持を得ている「手延べうどん」と「アマーラトマト」を武器に、「冷やし肉すきうどん」を販売し、見事3位入賞を果た

しました。悪天候の中、多くのお客様にご来店して戴き、誠にありがとうございました。なお、「味の民芸」は、関東地区を中心に56店舗ございますので、特に関東地区の株主の皆様のご来店をお待ちしております。店舗の詳しい場所については、サガミグループHPをご覧ください。





(2015年9月30日現在)

## ■会社概要

商号	株式会社サガミチェーン
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	7,178,109,149円
従業員数	574名
本社	名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
店舗数	269店舗
グループ企業	味の民芸フードサービス株式会社 株式会社ディー・ディー・エー 株式会社サガミフード 株式会社サガミマイスターズ 株式会社サガミサービス サガミインターナショナル株式会社 HONG KONG SAGAMI CO.,LTD. SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. BANGKOK SAGAMI CO.,LTD. NADEERA GLOBAL CO.,LTD.

## ■役員

代表取締役社長	鎌田 敏行
代表取締役専務	伊垣 政利
取締役	長谷川 喜昭
取締役	伊藤 修二
取締役	長屋 昇
取締役	千住 憲夫(社外)
取締役	遠藤 良治(社外)
常勤監査役	藤井 博規(社外)
常勤監査役	神田 敏行
監査役	井口 浩治(社外)
監査役	神谷 俊一(社外)

(注) 1. 取締役 千住憲夫および遠藤良治の両氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役 藤井博規氏、井口浩治氏および神谷俊一氏の3名は、「会社法」第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

## ■株式情報

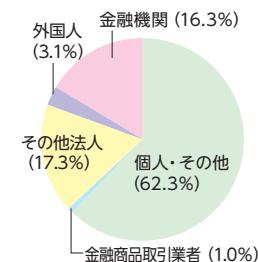
1. 発行可能株式総数 74,630,000株
2. 発行済株式総数 26,501,784株
3. 株主数 13,905名
4. 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
昭和産業株式会社	1,194	4.5
アサヒビール株式会社	1,032	3.9
株式会社愛知銀行	923	3.5
北村昌夫	544	2.1
岩月康之	490	1.8
栗本美子	460	1.7
サガミ共栄会	455	1.7
株式会社昭和	433	1.6
第一生命保険株式会社	399	1.5
大嶋つき子	375	1.4

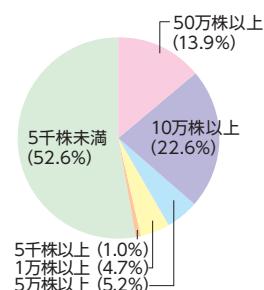
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。  
2. 当社は、自己株式として14,278株を所有しております。

## 5. 株式分布状況

①所有者別分布



②所有株式数別分布



# 店舗ネットワーク

(2015年9月30日現在)

当社グループは、和食めん処「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「陣屋サガミ」「盛賀美」「さがみ庭」「さがみ」「まるど食堂」「びんむぎ」「JIN JIN」「ASIAN LEAF」「Dela PASTA Kitchen」を展開しております。また海外はタイ王国のバンコク、インドネシアのジャカルタに展開しております。



## 合計269店舗

## 株式会社サガミマスターズ設立

国内においてFCを含む都心型の小型業態を展開するために株式会社サガミマスターズを2015年4月に新設いたしました。

## サガミ

128店舗



和食の原点とも言えるそば、うどんのおいしさを中心にして独自のチェーン展開を行ってきた「サガミ」。より気軽に、楽しく「和」のおいしさを味わって戴くため私たちが選んだのは、全店直営というスタイル。それは経営思想はもちろん、私たちが目指す最大限のおもてなしを、店舗運営の隅々にまで行き届かせるためのもの。もちろんそこに確立されているのは、店舗のデザインに始まり、接客スタイル、メニュー構成、営業時間にいたるまで、すべてはお客様の声に応え、より喜ばれるために築き上げてきた有形、無形の「サガミ」らしさの集積です。



## 味の民芸

56店舗



首都圏を中心に店舗展開しております。伝統の製法「手延べうどん」と和食の原点「手づくりだし」のおいしさを民芸の心あふれるくつろぎ空間でお楽しみ戴けます。

## あいそ家

10店舗



カジュアルなお店がコンセプト。毎日でも来店して戴けるお店、家庭の食卓と同じ感覚で利用してもらえるお店・・・そんな身近なお店をイメージしています。

## どんどん庵

39店舗



セルフ式の麺類店を展開中。メニューは「うどん」「きしめん」「そば」「丼」を中心に「天ぷら」など。また、あんかけスパゲティの店舗も展開しております。

## サガミ SAGAMI (タイ・バンコク)

2店舗



ASEAN1号店としてオープン。ASEAN諸国で知名度の高い北海道産のそば粉を使ったそばを前面に出し、日本のおもてなしを提供しております。2015年3月にはCentral Worldに2号店をオープンいたしました。

## ■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月下旬	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日	インターネット ホームページ	http://www.sagami.co.jp/
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>		

## ■復興特別所得税に関するご案内

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、**2013年1月1日から2037年12月末まで**、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されることになりました。

## ■株主優待のご案内

当社株式を1,000株以上保有されている株主の皆様方に、年間一律3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券(1万5千円を年2回)を贈呈しています。これは、株主の皆様にも、当社のこだわりの味を実際に味わっていただくことが目的です。1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんだん庵」「水山」「製麺大学」「陣屋サガミ」「盛賀美」「さがみ庭」「サガミ村」「さがみ」「まるど食堂」「びんむぎ」「JIN JIN」「ASIAN LEAF」「Dela PASTA Kitchen」全店でご利用いただけます。



《 権利確定日: 毎年3月31日、9月30日 》  
《 発送予定: 毎年6月下旬、12月中旬 》

## ■単元株式数変更のお知らせ

当社では、平成27年10月1日より単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

# 株式会社サガミチェーン

〒463-8535 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地  
電話 (052) 771-2126

